

## 株主様ご優待制度

毎年3月31日現在当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に対し、下記の基準により、静岡県袋井市において例年8月に開催される「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたしております。(花火大会があらかじめ中止となった場合は、自動的にクラウンマスクメロンのご贈呈となります。)

ご所有株式数	選択区分	ご優待品
1,000株 ～1,999株	-	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 2個
2,000株 ～4,999株	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 2枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 3個
5,000株以上	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 4枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 4個

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
株主名簿管理人及び特別口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社  
同連絡先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-176-417 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>  
公告方法 当社の下記ホームページに掲載します。  
<http://www.enshu-truck.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場 証券コード 9057)

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の連絡先をお願いいたします。

## 第47期

# 業績の中間ご報告

(平成23年4月1日から  
平成23年9月30日まで)

 遠州トラック株式会社

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第47期第2四半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の業績につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災による打撃から回復しつつも、その回復ペースは、欧米経済の減速、円高・株安の長期化などにより鈍化傾向にあります。加えて、電力供給の不安や原発事故処理問題の長期化などにより先行きの不透明感が増大しております。

当物流業界においては、東北・関東地方向けを中心とする復旧・復興需要が見られたものの、景気回復テンポの鈍化、昨年度のエコ関連政策の効果の剥落などにより荷動きは総じて盛り上がりには欠ける状態で推移いたしました。

このような中、当社グループにおいては、北関東地区で前期より開始しました流通系貨物の取り扱いがフルに寄与したほか、飲料の取り扱いが昨年引き続き増加し、また、子会社の業績も総じて堅調に推移いたしました。一方、主力の工業系貨物の取扱いは大震災による自動車産業の生産回復の遅れなどから低調な結果となりました。

この結果、当第2四半期の連結営業収益（売上高）は112億91百万円（前年同期比3.2%増）となりました。一方、

利益面においては、備車料、燃料費等の増加による輸送採算の悪化や、契約に基づく一部営業所の業務終了などが影響し、連結営業利益は3億80百万円（前年同期比27.0%減）、連結経常利益は3億32百万円（前年同期比28.1%減）、連結四半期純利益は1億78百万円（前年同期比21.4%減）と、いずれも減益を余儀なくされました。

部門別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は112億14百万円（前年同期比3.7%増）、その内訳は、輸送部門が73億13百万円（前年同期比7.2%増）、倉庫部門は39億1百万円（前年同期比2.2%減）となりました。不動産事業は、分譲地の販売が低調であったため77百万円（前年同期比39.5%減）でありました。

設備投資については、大東危険物倉庫（静岡県掛川市）の建設工事など、総額1億88百万円を実施しました。

下半期の物流業界は、世界経済の減速化、日本経済のデフレ基調の継続など、景気の足取りは重いものがあり、一部業種に明るさが見え始めたものの、全体として依然厳しい事業環境に置かれています。

このような環境下、当社グループは、運用の改善による輸送及び保管・荷役業務の採算回復、本社、浜松地区事業所を中心とする抜本的な業務及び体制の見直しなどを通し、営業利益を中心に利益率の回復に努めてまいります。

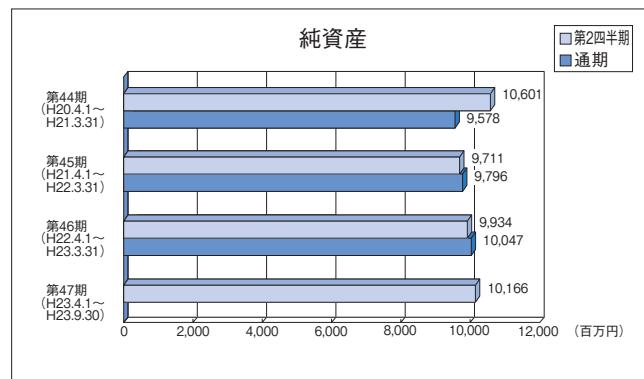
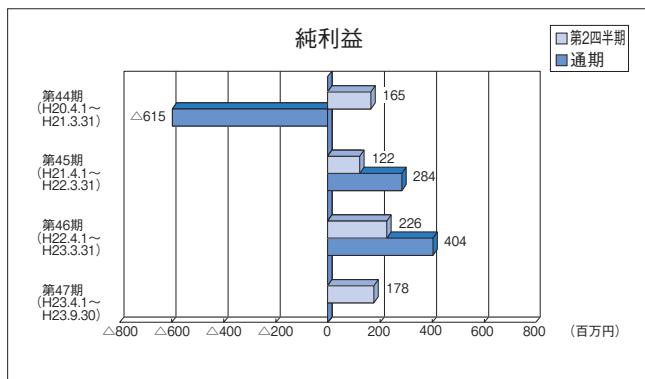
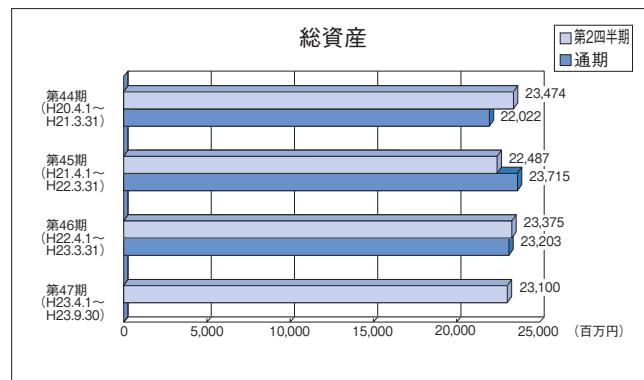
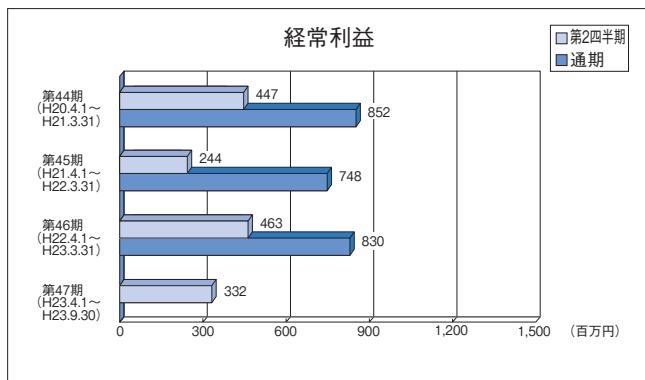
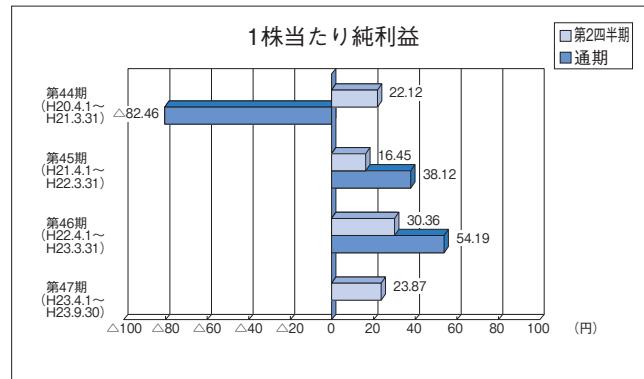
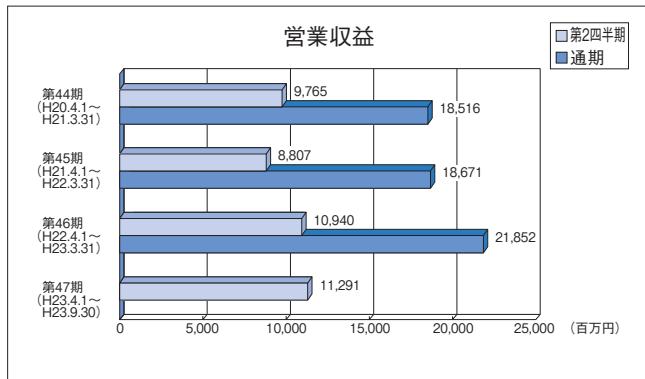
管理面においては、内部統制システムの整備、財務体質の強化、基幹システムの再構築等に努めてまいり所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 澤田 邦彦

# 連結業績ハイライト



# 連結財務諸表（要約）

## 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前 期 末 (平成23年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	4,770	4,760
固定資産	18,330	18,442
① 有形固定資産	15,792	15,910
無形固定資産	332	328
投資その他の資産	2,204	2,203
③ 資産合計	23,100	23,203
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	6,493	6,467
② 固定負債	6,441	6,688
負債合計	12,934	13,155
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	10,072	9,953
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	7,760	7,642
自己株式	△ 59	△ 59
その他の包括利益累計額	12	12
少数株主持分	81	80
純資産合計	10,166	10,047
③ 負債及び純資産合計	23,100	23,203

### Point

- ① 大東危険物倉庫（静岡県掛川市）の新築工事中に伴い、建設仮勘定が増加しましたが、減価償却の実施等により、「有形固定資産」は前期末に比べ1億17百万円減少しました。
- ② 短期借入金から長期借入金への借換を実施しましたが、一方で長期借入金の1年内返済予定長期借入金（流動負債）への振替により、「固定負債」は前期末に比べ2億46百万円減少しました。
- ③ 上記①、②などの結果、資産合計（負債及び純資産合計）は前期末に比べ1億2百万円減少しました。

## 連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
① 営業収益	11,291	10,940
② 営業原価	10,585	10,106
営業総利益	706	833
販売費及び一般管理費	325	312
③ 営業利益	380	521
営業外収益	23	35
営業外費用	70	93
③ 経常利益	332	463
特別利益	1	5
特別損失	49	52
税金等調整前四半期純利益	284	416
法人税等	107	200
少数株主損益調整前四半期純利益	177	215
少数株主損失	△ 1	△ 10
四半期純利益	178	226

### Point

- ① 東日本大震災に伴う荷動きの一時的な停滞がありましたが、夏場の飲料の取り扱い増加や関東事業部、子会社を中心とする新規貨物の獲得等により、運送収入は前年同期に比べ4億89百万円増加しました。一方、倉庫収入は一部営業所における受託業務の終了等が影響したため87百万円減少、不動産収入も50百万円減少しました。これらの結果、「営業収益」は3億51百万円の増加となりました。
- ② 運送収入の増収に伴い、備車料、燃料費等が増加し、「営業原価」は前年同期に比べ4億78百万円増加しました。
- ③ 備車料等の増加による輸送採算の低下や保管料、荷役料の低迷による倉庫収入の減少により、前年同期に比べ、「営業利益」は1億40百万円、「経常利益」は1億30百万円、それぞれ減益となりました。

## 会社の概要 (平成23年9月30日現在)

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	前第2四半期(累計) 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	521	654
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 190	△ 149
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 346	△ 499
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 17
現金及び現金同等物の増減額	△ 15	△ 11
現金及び現金同等物の期首残高	886	931
現金及び現金同等物の四半期末残高	871	920

#### Point

- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により5億21百万円の収入となりましたが、前年同期に比べ1億33百万円の減少となりました。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得等により1億90百万円の支出となりました。当第2四半期は、前年の貸付金回収による収入の要因がなくなったため、支出額は前年同期に比べ41百万円の増加となりました。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の返済や期末配当金の支払等により3億46百万円の支出となりました。これは前年同期に比べ1億53百万円の支出の減少となりました。

設 立 昭和40年8月  
資 本 金 1,284,300,000円  
本 社 静岡県袋井市木原627番地の3  
従業員の数 641名 (連結1,013名)  
主要な事業所

本 社 事 業 部 静岡県袋井市木原22番地1  
西 日 本 事 業 部 浜松市西区湖東町5720番地  
関 東 事 業 部 横浜市鶴見区大黒町一丁目11番地  
東 京 営 業 所 東京都港区浜松町一丁目2番11号

### 役員 (平成23年12月1日現在)

代表取締役会長	神 谷 修 義
代表取締役社長	澤 田 邦 彦
取 締 役	井 上 正 明
取 締 役	豊 田 慶 造
取 締 役	山 本 雅 俊
常 勤 監 査 役	木 下 昭 二
監 査 役	馬 杉 秀
監 査 役	秋 山 和 幸
監 査 役	八 木 宗 治

(注) 1. 取締役 山本雅俊氏は社外取締役です。  
2. 監査役 馬杉 秀、秋山和幸、八木宗治の3氏は社外監査役です。

### 連結子会社

株式会社藤友物流サービス	(本社 浜松市東区)
遠州トラック関西株式会社	(本社 大阪府摂津市)
株式会社中国遠州コーポレーション	(本社 静岡県袋井市)
上海遠州物流有限公司	(本社 中国・上海市)

## ■株式の状況

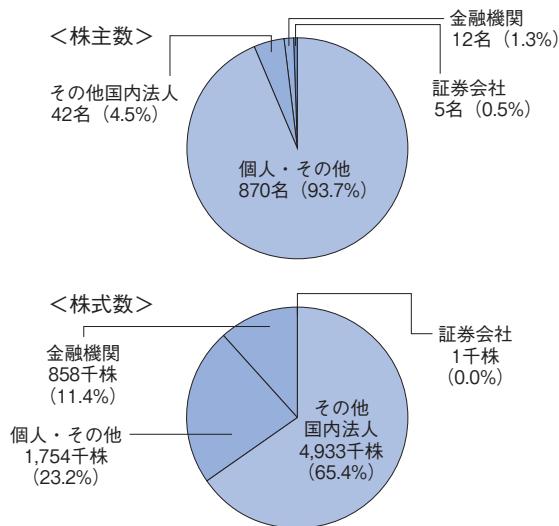
発行可能株式総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株主数	929名

## ■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社住友倉庫	4,527	60.7
遠州トラック従業員持株会	220	3.0
澤田邦彦	204	2.7
株式会社商工組合中央金庫	169	2.3
有限会社スリーナイン	131	1.8
株式会社静岡銀行	124	1.7
株式会社三井住友銀行	121	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	103	1.4
日本生命保険相互会社	100	1.3
東京海上日動火災保険株式会社	100	1.3

(注) 持株比率は自己株式 (84,892株) を控除して計算しております。

## ■所有者別の分布状況



## ■大手コンピュータ周辺機器メーカーの物流センター業務を受託

本年8月、パソコンやデジタル製品周辺のデバイスやネットワーク機器といったサプライ商品やアクセサリ全般の製造、販売を手掛ける大手コンピュータ周辺機器メーカーより、同社の東日本における物流センターの構内業務を請け負いました。

現在、同社は国内の東西2ヶ所に物流センターを構え、商品の入庫や保管、配送といった物流業務を行っていますが、この度、当社が提案した物流の合理化や業務改善策が、センター運営における業務の効率化やコスト削減を進めていた同社に評価され、取引がスタートしたものです。

今回、当社にお任せいただくことになった業務は、国内外の工場や物流拠点から同物流センターに持ち込まれる1万点近い商品の検品、入庫、値付け、梱包及び在庫管理などの構内業務で、当社は元請会社として、延べ100名の作業スタッフを配し、配送業務を除くセンター運営の中核部分を担っています。

## ■東日本大震災の被災地支援活動

去る3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心とした太平洋沿岸地域が広範囲にわたって大きな被害を受け、多数の方々被災されました。

こうした中、当社では、(社) 静岡県トラック協会から要請を受け、被災地向けに緊急輸送車両を提供したほか、地元の袋井市 (静岡県)



やNPO法人などで組織された災害支援隊に参画し、社員を岩手県陸前高田市に派遣。炊き出しや避難所への支援物資の配送などの災害支援活動を行いました。

当社グループは、被災地及び被災者の皆さんの一日も早い復興と回復を願い、中国現地法人を含むグループ各社で義援金の募金活動を行い、会社拠出分とを併せて日本赤十字社へ義援金を寄託しました。

